

2010年12月15日

日本アイ・ビー・エム株式会社

株式会社パスコ

三菱電機株式会社

(報道資料)

日本 IBM、パスコ、三菱電機が高精度な三次元地理空間情報分野で協業 — 高精度の三次元地理空間情報の整備および利活用ビジネス推進で提携 —

日本アイ・ビー・エム株式会社(社長:橋本孝之、以下日本 IBM)、株式会社パスコ(代表取締役社長:杉本陽一、以下パスコ)と三菱電機株式会社(執行役社長:山西 健一郎、以下三菱電機)は、交通や環境、防災対策、インフラ保全といったより良い都市づくりの基盤となる地理空間情報を整備・高度化し、それを活用した多岐に亘るソリューションを可能とするシステムを、東南アジアを中心とした世界各国のお客様にインフラパッケージとして提供するため、協業を進めていくことで合意しました。

交通渋滞、水やエネルギーの無駄など、地球上のさまざまな非効率状態を、情報通信技術(ICT)を活用して解決する動きが世界中で始まっています。その実現の基盤となる国土地理空間情報(NSDI :National Spatial Data Infrastructure)の整備は各国で始まっており、特に都市部ではその高度化(1/500 縮尺地図レベルへの高精度化・三次元化)が求められています。

従来の地理空間情報の収集は、衛星測量や航空測量の成果をベースに、地上測量や現地調査を行い、高精度化を図る手法が主流で、精度の高いデータの効率的かつ迅速な取得、情報の更新頻度向上などにおいて課題を抱えていました。

日本 IBM、パスコと三菱電機は、この地理空間情報収集上の課題を解決するソリューションと、収集した地理空間情報の活用およびサービスを国や自治体、企業や生活者の視点で想定し、これを実現するソリューションを三次元地理空間情報インフラパッケージとして提供する予定です。

日本 IBM は、IBM が世界で展開している様々なプロジェクトで得た知見やノウハウを当協業に活かしていきます。

パスコは、高精度な三次元地理空間情報を航空機、移動体 GPS 測量機器:モバイルマッピングシステム(MMS)で収集し、お客様のニーズに合わせて処理を行った上で、必要な情報を付加した空間情報として提供します。

三菱電機は、移動体 GPS 測量において絶対位置精度 10cm 以下(※1)を実現するための「電子基準点網」と、「FKP 方式(※2)による測位補強システム」、および、これらにもとづいて高精度な 3 次元地理空間情報を効率的に取得するモバイルマッピングシステム(MMS)を提供します。これらは将来、我が国政府が推進する準天頂測位衛星「みちびき」を活用すれば、東南アジア・豪州地域における更に効率的なインフラとして利用できます。

(※1) 良好な GPS 受信の条件による、 1σ の数値。

(※2)面補正パラメータによる測位誤差補正方式。一度に広範囲を計測する MMS において最適な補正方式。

以上

<報道関係者からのお問合せ先>

日本アイ・ビー・エム株式会社 広報 03-3808-5120

株式会社パスコ 広報担当 03-3715-1048

三菱電機株式会社 広報部 03-3218-2333